## 第51回日本創傷治癒学会研究奨励賞を受賞して

静岡がんセンター 再建・形成外科 **荒木 淳** 

このたびは、第51回日本創傷治癒学会にて研究奨励賞の受賞を賜り、 誠にありがとうございます。共同研究者一同、大変光栄に感じておりま す。

本研究は、移植による永久人工肛門からの離脱を目的とした研究です。一般の創傷治癒の分子細胞学的な基礎研究とは異なりますが、WOC という意味では範疇に入ると思い、応募させて頂きました。

はじめは一人でラットにて着手し、国立がんセンター東病院大腸外科の西澤祐吏先生と出会い、当時在籍されていた京都大学再生医科学研究所臓器再建応用分野にて中村達雄先生のもとイヌで実験ができるようになりました。術式開発のため、さいたま新開橋クリニックの佐藤知行に加わって頂き、英国St Mark's Hospitalでのブタ実験の経験を活かして頂きました。その後、東京大学獣医外科の藤田直己先生と出会い、イヌの周術期管理が洗練され、同種移植実験の成功に至りました。審査員の先生が仰っていた「大動物実験は大変でしたでしょう」というお言葉通り、多くの方のご協力無くしてはなしえないことでした。

愛知医科大学解剖学の内藤宗和先生のもとヒトご遺体を用いた検討も進めており、今後はサルを用いた実験も検討しております。

新型コロナウイルスやウクライナ危機など未曾有の災禍が続きますが、 困っている患者さんのため我々は研究を進めていく所存です。このたびは 本当に、ありがとうございました。

## Young Investigator Award Testimony

#### Sofoklis Koudounas

Department of Skincare Science, Graduate School of Medicine, The University of Tokyo

It is a privilege and an honor for me to receive the Young Investigator Award at the recent Japanese Society for Wound Healing (JSWH) conference. As an early career researcher this is incredibly encouraging, motivating and a wonderful booster to move forward towards research excellence.



日本創傷治癒学会 2022.03 No.128

## ●日本創傷治癒学会事務局

〒160-8582 東京都新宿区信濃町35 慶應義塾大学 医学部形成外科学教室内 tel.03-3351-4774 fax.03-3352-1054 e-mail:info@jswh.com

URL: https://www.jswh.com

No.128

My research focuses on incontinence-associated dermatitis (IAD) due to exposure of skin to urine/liquid stool. My doctoral studies explored IAD mechanisms and examined the effectiveness of current strategies in healthy volunteers. After completing my PhD, I joined Prof Sanada's research group at the Global Nursing Research Center (GNRC), the University of Tokyo, and this year, I am a project assistant professor in the Department of Skincare Science under the guidance of Prof Sanada and Dr Takeo Minematsu. For my research, I received a grant from the Japan Society for the Promotion of Science (JSPS). This allowed me to establish a novel IAD animal model that can be used to develop novel interventions to prevent IAD.

Receiving this prestigious award is a huge step forward for me and I would first of all like to express my sincere gratitude and appreciation to Prof Sanada, first for giving me the opportunity to join her group and for her continued guidance, support and enthusiastic encouragement. The meetings we had along with her experience were vital to complete this research. I am particularly grateful to Dr Gojiro Nakagami and Dr Minematsu, without whom this would not have been possible, for their immense knowledge that was really influential on study design, and for their critique that made me become a confident researcher. I would also like to thank all the members of the Department of Gerontological Nursing/Wound Care Management for a cherished time spent together in the lab. Lastly, I would like to thank JSPS for the research grant.

## ■ 一般社団法人日本創傷治癒学会 令和4年度(2022年度) ■

2021年11月に書面上で行った令和4年度社員総会(評議員会)における決議にて、以下の通りの役員および新評議員7名(\*印)が承認されました。

新体制の下に学会のさらなる発展のため邁進していく所存ですので、会員の皆様にはますます のご支援・ご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

## 理事(\*:理事長) (13名)

木 茂 久 貴 志 和 生 木 山 輝 郎 紺家千津子 佐藤 夫 道 釜 淳 子 恭 松村 水 野 博 司 須 西 本 聡 﨑 光 男 \*吉 田 昌 和 田 則 仁

#### **監事** (2名)

真 田 弘 美 館 正 弘

## 評議員 (70名)

牧 木茂 久 秋 田 定 伯 秋 野 公 造 朝 戸 裕 貴 荒 典 子 石澤美保子 瀬 久 子 裕 子 出 滋 股 雅 史 石 石 市  $\mathbf{H}$ 江 真 大 貝 和 裕 \*荻 野 晶 弘 島 西 俊 介 大 野 真 司 岡 崎 悌 之 部 圭 Ш 令 城 龍 岡 介 菅 野 美 貴 志 生 雄 光 木 子 恵 和 北 Щ 郎 京 Ш 清 Ш 兼 輔 近 藤 稔 和 紺 家 千 津 賀司珠也 酒 井 成 貴 本 道 佐. 藤 道 夫 真 弘 野 仁 美 光 生 坂 治  $\blacksquare$ 島  $\mathbf{H}$ 憲 男 調 憲 淳 白 石 須 釜 子 木 元 \*高 田 弘 弥 武 竹 内 裕 也  $\mathbf{H}$ 啓 \*竹 原 君 江 正 弘 田 中 里 佳 畑 彦 \*丹 野 寬 大 師 浩 人 土佐真美子 祥  $\coprod$ 泰 寺 土 佐 泰 仲上豪二 朗 聡 中 村 哲 也 \*藤 井 美 \*前 重 伯 壮 西 本 崹 恭 村 野 司 松 健 夫 澤 光 男 松 松 水 博 宮 守 圭 吾 本 根 実 宮 本 正 永 尚 樹 Щ 拓 寬 昌 俊 兀 谷 淳 則 仁 杠 介 田 田 田

(敬称略·五十音順)



# 自然と健康を科学する。漢方のツムラです。



資料請求・お問い合わせは、お客様相談窓口まで。 [医療関係者の皆様] 0120-329-970 [患者様・一般のお客様] 0120-329-930

受付時間 9:00~17:30(土・日・祝日は除く)

www.tsumura.co.jp

(2019年5月制作) RSCAB01-D @